

市民公開講演会「花粉症とかしこく付き合うために」を開くにあたって

日本花粉学会第58回大会長 宇佐神 篤

静岡県は花粉症の点では「ありがたくない県」と言えるかもしれません。ある有名な2008年の調査<sup>(1)</sup>によりますと、なんと、静岡県民の39.3%がスギ花粉症であり、スギ以外の花粉症の18.8%を加えた何らかの花粉症（すなわち花粉症の全体）は重複を除いて、41.1%となっています。これは全国的にみますとワースト5になります。すなわち何らかの花粉症になっている人は県民の40%強というありがたくない現状と言わねばなりません。

今般、北は北海道、南は九州から集まる花粉・花粉症の研究者、臨床家の中から選んだ講師により、「花粉症との付き合い方」を十分賢く身に付けるための講演会を開くことにしました。日ごろの花粉症に関するご質問を講師の方たちに投げかけ、未だ明確な解答をなし得ない部分については、その糸口を共に考える時を持つてたと思います。

#### 参考文献

(1) 馬場廣太郎、中江公裕：鼻アレルギーの全国疫学調査2008（1998年との比較）、Prog. Med28：2001～2012、2008